



人とのつながりが

地域の未来を変える！

～袋井南部つながり部を開催しました～

圏域の民生委員児童委員と居宅介護支援事業所・介護サービス提供事業所、地域包括支援センターの3者で互いの特性を理解し、顔の見える関係を築き、円滑な活動や支援へとつなげるために联合会別に情報交換、情報共有を行いました。

日 令和2年7月10日（金）～8月7日（金）計6日間

会場 袋井南部圏域内公共施設

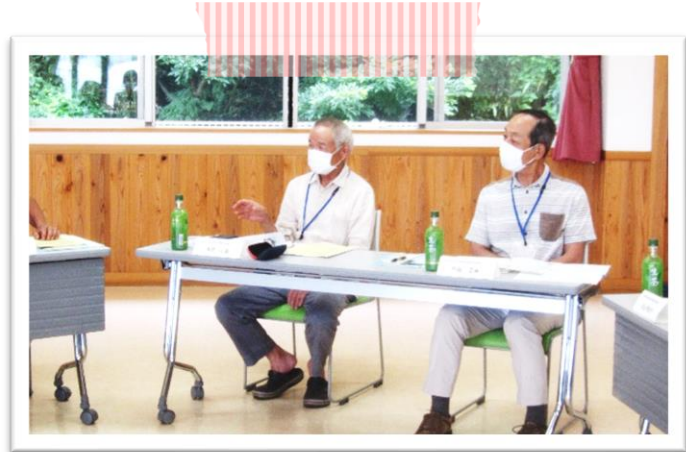
参加者 袋井南部圏域の民生委員児童委員

居宅介護支援事業所・介護サービス提供事業所

11事業所

袋井南部地域包括支援センター職員 延べ77人参加

- 内容
- 事業所紹介
 - 介護保険制度・認知症施策について
 - 情報交換



◆情報交換で出された主な意見◆

見守りネットワークの活動として、地域で通勤や散歩等の外出のときに気に掛けて活動をしている。

免許返納に伴い移動手段がないため、コミュニティセンターで良い事業を開催していても、遠くて参加が難しい。



体操教室に移動販売車が来ているが、移動販売を目的で来られる方もいる。

日頃から防災訓練や施設のイベント等で施設と地域で連携が出来たら良い。



3密にならないように居場所等の事業を開催するためには、どのような形態での開催が望ましいか、内容はどのように変えていくべきか答えがでない。

有志でマスクを作成し、子ども会へプレゼントしたり、脳トレプリントを配布するなど、新しい活動が始まった。